



一生懸命 In 一期一会

《学校教育目標》
「志を持ち 道を拓く生徒」

5. 22 (金) 文責: 担当 川崎幸司

3年生, 充実した “修学旅行” でした!

3年生は、5月13日(水)～15日(金)の3日間、広島・京都方面へ修学旅行に行ってきました。3日間晴天に恵まれ、無事予定通り日程を終えることができました。

「修学旅行で訪れる広島市の人口は約120万人、京都市の人口は約150万人です。(中略)旅行先の広島市や京都市がどれだけ都会なのかは、数字からだけでも想像できるでしょう。沢山のビルが立ち並んでいます。それにも関わらず、広い通りからちょっと足を踏み入れると、歴史を背負った世界遺産が、本当にそこだけ時間が止まったかのように存在しています。そしてその場所で日常を営んでいる人々の生活があります。その状況を目の当たりにしたとき、あなたは『何を修学しますか?』・・・」と笹本校長先生が、熱い思いをしおりの中で寄せてくれました。



また、3年生は修学旅行のスローガンを『緑心一体(りょくしんいつたい)』と設定しました。このスローガンには、緑学年の一人ひとりの心の一つにして、一体となって修学旅行を成功させ、楽しく思い出に残るものにしようという願いが込められています。さらに個人としても集団としても成長していく機会とし、最上級生という意識を高めたい、というその後の生活へのステップの意味合いもあると伺いました。

1日目は広島にて平和について考えさせられました。広島駅に降り立ち、ガタゴトと揺れる広島電鉄(路面電車)に乗り込むところから、

私たちの学びは始まりました。車窓から眺める現代の活気ある街並みは、かつてここが焦土と化した事実をにわかに信じがたくさせますが、「原爆ドーム前」で下車した瞬間、その空気は一変し、静寂の象徴と対峙することになりました。駅を出てすぐ目に飛び込んでくるのは、むき出しの鉄骨と崩れ落ちた外壁を晒す原爆ドームです。青空とのコントラストが、核兵器の



破壊力の凄まじさを無言で訴えかけてきます。元安川を渡り、平和記念公園へと足を踏み入れると、広大な園内には、多くの碑(いしぶみ)が点在しており、碑巡りをする中でそれぞれの碑の前で足を止め、犠牲になった動員学徒や韓国人犠牲者など、一人ひとりに人生があったことに想いを馳せます。「献鶴式」では原爆の子の像を前にして、心を込めて折った千羽鶴を捧げる献鶴式を執り行いました。「平和な世界を作ります。」その誓いととも捧げられる色とりどりの鶴に、過去の悲しみを受け止め、未来への希望を繋ぐ誓いを込めました。静寂の中での黙祷、そして群読は、自分達の内側にある「平和への願い」を再確認する貴重なひとときとなりました。続いて、被爆者の方(6歳で被爆)による被爆体験講話を聴講しました。教科書に書かれた数字やデータではなく、「あの日、隣にいた友人がどうなったのか」「家族を捜して歩いた街の惨状」といった血の通った言葉は、私たちの胸に深く突き刺さりました。「生きていてほしかった」という切実な願いと、「同じ思いを誰にもさせてはならない」という力強いメッセージは、学習の核心となりました。最後に訪れた広島平和記念資料館では、遺品や写真といった実物資料と対峙しました。焼け焦げた三輪車、ボロボロになった制服、壁に残った「黒い雨」の跡、・・・これらは、失われた日常がいかに尊いものであったかを突きつけられました。展示を見終えたとき、心に湧き上がるのは「悲しみ」だけでなく、「自分に何ができるか」という問いかけ。宿泊先への帰路、再び路面電車に揺られながら、生徒たちは行きとは違う景色を見ていたはずです。

この行程を通じて学んだのは、死者の数ではなく、「生きようとした人々の意志」です。広島で受け取った平和のバトン、次は自分たちの日常の中でどう繋いでいくか。その答えを探し続けることこそが、本当の意味での平和学習の始まりといえると思います。

2日目は、京都市内をグループ別「自主見学」を行いました。2年生の頃から事前学習を始め、自ら興味関心を持った見学地をピックアップして京都の寺社仏閣をはじめ観光名所を見学して巡る「自主見学」。そのコース作成にこだわった甲斐もあり、予定通りのコースを巡ってくることができました。インバウンド需要もあり、外国人観光客もかなり増えていましたが、中には運転手の計らいで、渋滞回避のために見学順を変更したグループもあり、とても有意義なひとときを仲間と過ごすことができました。

3日目はクラス別の見学でした。

1組はハンカチ染め、広隆寺、嵐山散策の旅でした。広隆寺の「弥勒菩薩半跏思惟像」の姿は素敵だったことでしょう。

2組は二条城、三十三間堂、清水焼絵付け体験、清水坂散策でした。三十三間堂では自分に似ている仏像は見つかりましたか。清水坂ではずいぶん混み合う中でしたが、友人と仲良く買い物をしていましたようです。

3組は世界遺産「比叡山」から石山寺。滋賀県を中心に拝観しました。延暦寺での座禅体験では作法を学んだり、説法を聞いたりしました。全員が真剣な面持ちで取り組みました。他では味わえない、貴重な経験をする事ができたのではないかと思います。

この修学旅行の3日間を通して、新しいクラスの親睦が深まると同時に、一つの行事を同じ目標を持ってやり通したことで学年の絆もより一層深まったことと思います。また、新年度がスタートして間もない中、事前の準備をしっかりと行い、参加者全員が帰ってくることができました。

生活に関わる時間の徹底など、新3年生の団結力の強さを感じることができた修学旅行でした。

これから本格的に始まる学校生活（日常生活・授業・部活動）においても、修学旅行での経験を生かし、最上級生として一日一日を大切に過ごして欲しいと思います。

